

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（概要）

【類型Ⅱ】

実践校名：徳島県立鳴門渦潮高等学校（スポーツ科学科）**研究主題**

新科目「公共」の目標や内容の主旨を踏まえた学習プログラムの開発・実施
 「徳島県鳴門市のまちづくりを考える」
 ～5年先，10年先，私たちが住み続けるまちであるために～

主題設定の理由

選挙権年齢や成年年齢が18歳に引き下げられ，在学中に18歳となる者もあり，生徒はこれまで以上に主権者として必要な資質・能力を確実に身に付けておかねばならない状況となっている。このような中，令和4年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領において，新科目「公共」が設置された。「公共」では社会に参画する主体として自立することや，他者と協働してよりよい社会を形成することに向けて，現代社会の諸課題について追究したり解決したりする力の育成が求められる。

徳島県では「徳島県教育大綱」において，「社会を自分事として捉える主権者教育の充実」を目標に掲げ，自ら考え，自ら判断し，よりよい社会の構築をめざす意識を醸成するため，体験・探究型学習の充実を図るとともに，令和3年度には，全国に先駆けて県内全ての高校生に1人1台端末を整備し，その有効活用により，未来を担う主権者を育成する教育を推進してきた。

そこで，これまで取り組んできた成果を土台として，新たに「徳島県鳴門市のまちづくりを考える～5年先，10年先，私たちが住み続けるまちであるために～」をテーマに設定し，同じ鳴門市に在しており総合学科とスポーツ科学科を有する本校と，普通科単独校である鳴門高等学校が，それぞれの学校の特長を生かしながら，同一のテーマで視点を変えた取組を実施してきた。その際，鳴門市や鳴門教育大学，諸課題に関する専門家，関係諸機関など，地域や外部機関と積極的に連携しながら実践研究を進めた。

この学習プログラムは，ICTを積極的に活用したGIGAスクール構想やコミュニティ・スクールの導入による外部人材の積極的な活用等，令和4年度から施行された学習指導要領に沿った取組である。学校所在地である自治体の鳴門市の課題の解決に向け，鳴門高等学校と鳴門渦潮高等学校の生徒が，中学校までの学びを生かしながら，自分たちが生活する社会をよりよいものにするための方策について考察する学習プログラムを構想し，その学習課程において鳴門市や鳴門教育大学等と連携を通して学びを深めるとともに，社会参画の意欲や態度の育成を目指した。

概 要

5年先、10年先の鳴門市を見据えたまちづくりに関する提案を行う過程において、主体的に社会参画しようとする意欲と態度を育むとともに、責任ある社会参画に向けた思考力・判断力及び実践力を育む学習プログラムを開発した。

学習プログラムの主な内容

- ① 外部人材を積極的に活用(鳴門市財政課, 税理士, 大学教授による出前授業)し, これからの学びへの導入を図る。【総合的な探究の時間・2時間, 公民科・3時間】
実社会における各分野の専門家から講義を受けることで, 今後の学びの見通しを立て, 教科で習得する知識と実社会における課題を関連付ける。
- ② 企業訪問を実施し, 鳴門市の現状・課題について理解する。
【総合的な探究の時間・1時間】
フィールドワークを実施し, 学校と企業間で学びのインタラクション(相互関係性)を獲得しながら, 地域の現状と課題についての理解を深める。
- ③ 新科目「公共」の「自立した主体として社会に参画する私たち」に位置付けた単元構想【公民科・5時間】
政治・経済の授業において, 外部人材の出前講座やフィールドワークで得た考察の視点を活用する。主体的に社会に参画する態度を育むとともに, 課題の解決に向けた思考力・判断力を育成する。また, 社会の在るべき姿を描きながら課題について考察し, 妥当性, 効果, 実現可能性の観点から, 効果的な課題解決策を構想する。
- ④ プレゼンテーション【保健体育科・1時間】
自ら考えた課題解決策とスポーツ科学科の特長ある学びを関連付けさせ, 発表しながら, 意見書の内容を再検討・修正する機会とする。
- ⑤ 鳴門市への意見書の提出並びに意見書についての説明【課外に設定・1時間】
鳴門市長, 鳴門市議会議長に意見書を提出し, 内容の説明, 意見交換を行い, 評価を得る。

学習プログラムの成果の概要

- 単元前に生徒に向けて, 社会参画の意欲に関するアンケート調査を行った結果, 消極的あるいは無関心な生徒の割合が4割程度を占めた。地域については, 特産品や観光・商業施設の関心が高かったが, 意見書の作成後は人口減や財源の活用, 施設の有効活用や地域の歴史について関心を向ける生徒の割合が増え, 地域への関心度の項目は8割程度まで増加した。
- 課題解決型学習において生徒が積極的に議論できる場面を設定し, 他者との協働や地域との関わりを通して問題解決に必要な知識・技能, 態度を自覚し, それらを獲得, 活用していく道筋を生徒自ら考え, 学びを設計することができた。
- 「社会に開かれた学校づくり」を鳴門高等学校との共通課題に設定し, 外部人材を積極的に登用したことで, 教科での学びが実社会にどのようなつながっているかを明確にすることができた。

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（内容）

【類型Ⅱ】

実践校名：鳴門渦潮高等学校（総合科学科）

学習活動① 専門家、関係諸機関による出前講座（鳴門市財政課，税理士，大学教授）

- 主権者意識を高めるとともに鳴門市の未来について構想するため，財政や選挙に関する出前講座を実施した。

- ・「鳴門市の歳入・歳出の現状はどうなっているのか」講師：中島晃平(鳴門市財政課)
鳴門市提供の資料から，人口減や企業減，観光客の減少により過去と比較してどの程度歳入が減少しているかを読み取った。また，国からの補助金についての知識を深めたり，社会保障費の内訳を読み取ったりしながら，鳴門市の財政への関心を深めることができた。



- ・「選挙のしくみや課題，自分の考えに優先順位をつける」

講師：井上奈穂(鳴門教育大学)

現行の選挙制度や課題を学び，理解を深めた。また，自分の考えに優先順位をつけることの重要性について学んだ。この優先順位をつけるということが，後の学習において，自分の考えを課題解決策につなげ，政策を判断し，決断する力の育成に役立った。



- ・「高校生に知ってほしい税の知識について」講師：久次米智之（四国税理士会）
税金の集め方や納め方について，専門的見地から伺い，納税することの意義について改めて理解すると同時に，納税における「公平」について思考し，自分の考えをまとめることができた。



公民科「政治・経済」と「総合的な探究の時間」の時間を軸に，「現代社会」における単元学習の導入としても位置付けた。出前講座により獲得できた知識や考え方を活用して，地域の課題に主体的に取り組めるよう外部講師と内容や実施時期について検討をした。

学習活動② 地域フィールドワーク（鳴門市の4企業・1団体を訪問）

- 総合的な探究の時間を利用して、地域の現状把握と課題の発見のために、地元企業・団体の代表者より情報提供、意見交換をしていただき、鳴門市への意見書の作成に役立てた。



【アオアヲリゾートホテル】



【こうのとりの基金】



【フルーツガーデンやまがた】



【株式会社 ひかりや】



【本家 松浦酒造】



鳴門市には、(フルーツガーデンやまがた)がある！

① 理念

どこでもいた天然肥料を使用し農業や食料をほとんども使用しないための安全、洗浄や殺虫剤をほとんど使わずに育てる。鳴門ウヅイ海で採れた牡蠣パウダーをはじめ、天然の塩の濃度エキスをカコ主体の有機酸カルシウム肥料を使用。

③ 連携事業

鳴門市内のお店などに沢山降ろしてたりする。イロイロ狩りを観光しながら楽しんでほしい。神戸のお菓子屋さんと業務提携をして情報交換をしている。

② 事業活動・事業内容

冬から初夏にかけて甘くて酸っぱいいちご。夏から秋にかけては大きくジューシーな梨。こども狩りと梨狩りなどのフルーツの美味しさをとこねあせます。また、直売所では、当日収穫したばかりの新鮮なフルーツやちょっと訳ありのお買ひ得フルーツなどを販売しています。直売所でも買えない商品も沢山あります。それ以外にちょっぴりお土産つきのようになコネクターが設けられています。積み取ったばかりのいちごで作るスムージーやカフェ、クラブにラッシュ等の人気メニューもある。コーヒーやビールの喫茶メニューもあります。

④ (フルーツガーデンやまがた)の魅力はここ！

洗わずに食べられるいちご、積み取ったばかりのいちごで作られたスムージーやカフェ、クラブにラッシュなどの人気商品。10年以上培ってきた経験と実績。美濃にシュートを試食まで頂いてますが、濃くおいしくありません！

⑤ 自己評価【下記のURLをクリック】

<https://forms.office.com/Pages/DesignPageV2.aspx?subpage=design&id=62a21Uw0-p-EmvBm70r-Vp7QwDm5n1lP6e4j1QbN0UV8SMVUwE037Uw9UQC3N0ZFWT6WELQ1GS4&Item=6865ced3522b48a99371c1a6c44c3f>

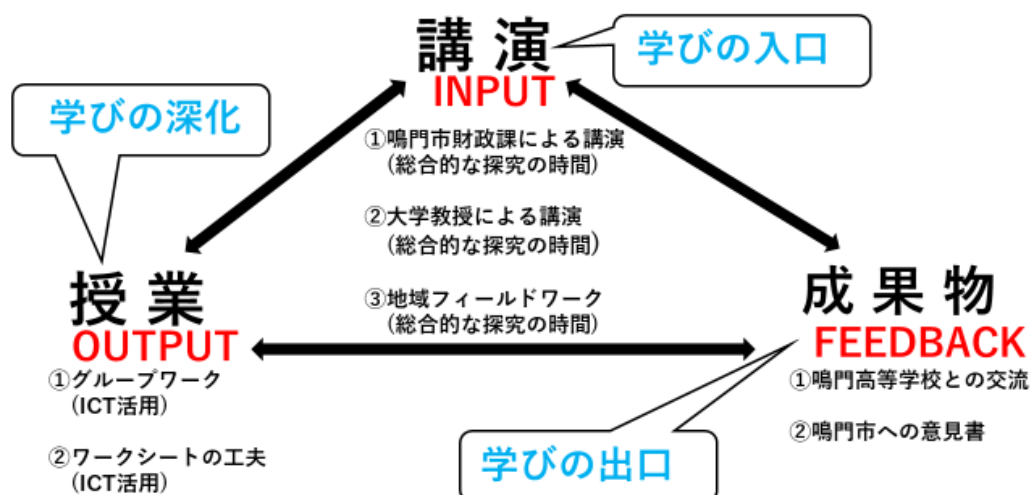
[illegible]

【フィールドワークのワークシート】

- 外部の方の話に耳を傾けたり、疑問点や知りたい情報について質問したりすることを繰り返していく中で、生徒からは「現状で満足している経営者は一人もいない」「企業は常に考え、工夫し、新しいものを生み出している」「鳴門の魅力を再発見することができた」などの意見があった。一方で、企業側からも「自社PR不足であったところがよくわかった」「若者のSNSにおける情報を知り、自社のPR活動をブラッシュアップさせていきたい」などの意見があり、学びの相互関係性を確立することができ、生徒が積極的に議論する中で多面的・多角的に考察したり、構想したりする場面を設定することができた。

学習活動③ 単元の学習(「社会的な見方・考え方」を学びの中で深められる単元構想)

- 「政治・経済」の授業において、専門家・関係諸機関と連携し、学んだことを教科の学びへとつないでいく単元構想とその実践に取り組んだ。外部人材による講演から社会的な見方・考え方を獲得し、さらに知識を上乗せしながら鳴門市の課題解決に活用していくことをねらいとした。鳴門教育大学の井上奈穂准教授、徳島県教育委員会指導主事に助言と指導を仰ぎながら、単元構想に取り組んだ。



【公民科の学習の流れ(授業・外部人材の活用)】

単元計画 ※下線部は専門家や関係諸機関との連携場面

※総合的な探究の時間は「総探」と示した

第1時 鳴門市の現状と課題

「地域フィールドワーク(4企業・1団体)」(総探)

第2時 鳴門市の財政状況についての出前講座

「鳴門市の歳入・歳出の現状はどうなっているのか」(政治・経済)

第3時 主権者意識を高めるための出前講座

「選挙のしくみや課題、自分の考えに優先順位をつけるとは」(総探)

第4時 地方自治制度

「地方自治の本旨とは」(政治・経済)

第5時 住民の権利(1)

「私たちはどのように社会を形成していくのか」(政治・経済)

第6時 住民の権利(2)

「私たちの意見をどのように届けるのか」(政治・経済)

第7時 政党政治と選挙制度

「政党の役割とは、日本の選挙制度はどのような特徴があるのか」(政治・経済)

第8時 民主政治における世論の役割

「世論を政策に反映させるには」(政治・経済)

第9時 租税についての出前授業

「主権者として知っておくべき税金の知識」(総探)

第10時 スポーツを通じた社会参画

「スポーツが社会にもたらす影響とは」(保健体育)

第11時 プレゼンテーション

「U' z 3 1 F P (うずしお3 1 HRが考える未来プラン)の発表」(保健体育)

課外に設定 鳴門高等学校との意見交換

意見書の再検討

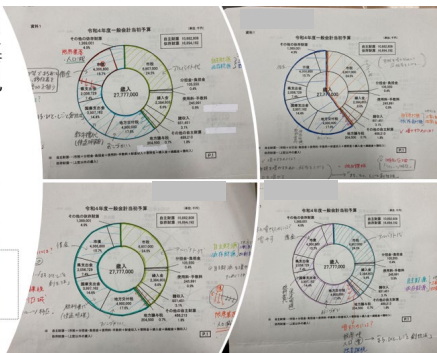
意見書の提出, 鳴門市長, 鳴門市議会議員からの講評

学習活動④ プレゼンテーション

3 1 HR 1 班から 6 班までの各班で, 自ら考えた鳴門市への意見書を発表し, 教師やクラスメイトから質問に答えたり, 評価を受けたりした。生徒が積極的に議論する中で, 自分たちの意見書案について, 多面的・多角的に比較・考察・検証することができた。

参加者: 平山隆恵(教頭), 林博章(地理歴史科・公民科教諭),
中島宏彰(スポーツ科学科長), 河野雅矢(地理歴史科・公民科講師),
神例那至(地理歴史科・公民科講師)

鳴門市からいただいた資料に基づいて財政状況を把握



学習活動⑤ 鳴門市への意見書の提出並びに意見書についての説明

○ 鳴門市長, 鳴門市議会議員へ意見書を提出し, 内容の説明, 意見交換を実施
学習成果物の評価・活用の場面として, 鳴門渦潮高等学校からは, サイクリングツーリズムと親子サイクリングロードの整備についての意見を提出し, 具体的な提案内容, 提案に至った経緯, 提案の根拠や妥当性についての説明を行った。

その後, 鳴門市長, 鳴門市議会議員より講評をいただいた。鳴門市が進める都市計画や諸施策に若者の意見として活用し, 優先順位を考えながら, 可能なものは速やかに実行していくというコメントをいただき, 社会参画とその成功体験の場となった。



【生徒代表が市長・議長へ意見書を提出】



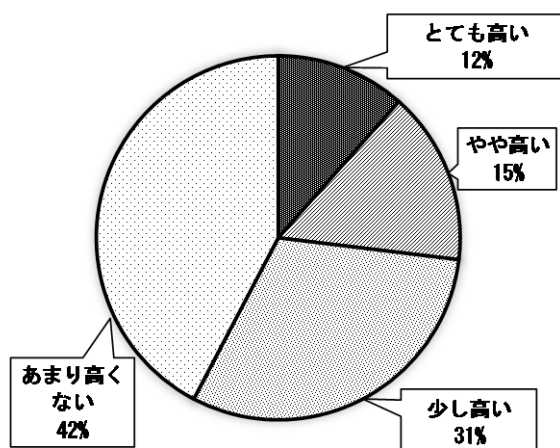
【市長に質問する生徒】

成 果

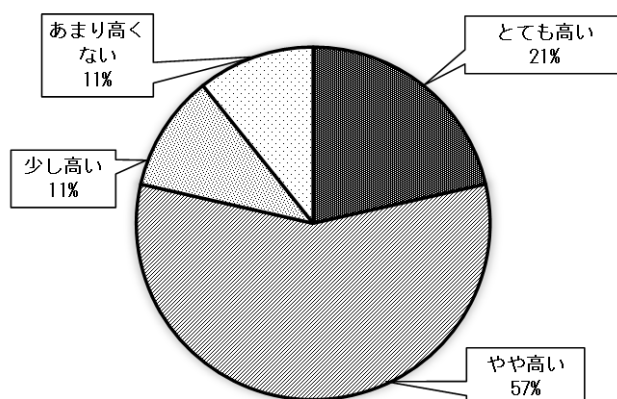
(生徒の変容等)

- 4月当初のアンケートでは、「身近な地域のことについて興味・関心がとても高い、やや高い」と答えた生徒が27%程度であったが、1月に行ったアンケートでは78%になった。「社会に参画する意識が高い、やや高い」と答えた生徒が41%であったが、1月に行ったアンケートでは54%になった。

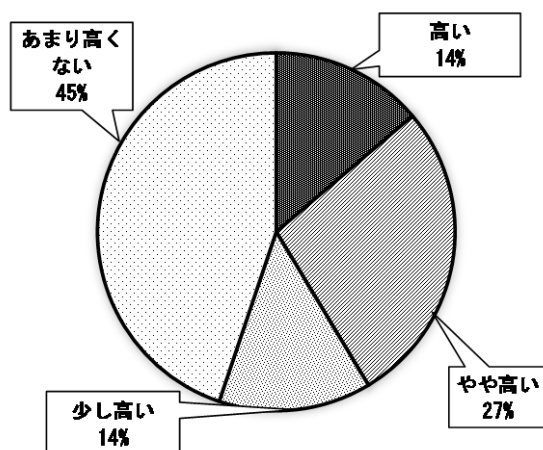
「身近な地域のことについて興味・関心は高いですか」(4月)



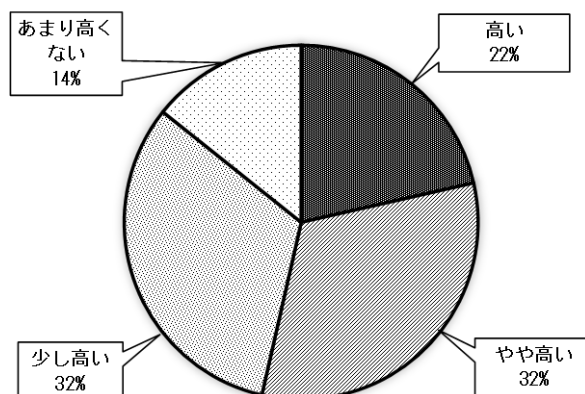
「身近な地域のことについて興味・関心は高いですか」(1月)



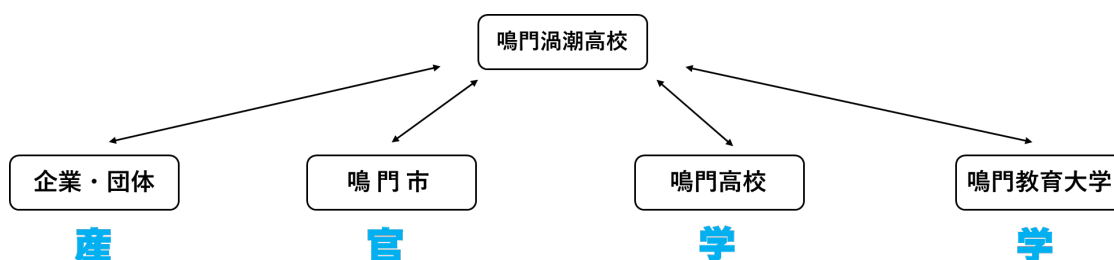
「主権者として、社会に参画する意識は高いですか」(4月)



「主権者として、社会に参画する意識は高いですか」(1月)



○ 学びのインタラクション(相互関係性)を獲得



上図のような連携の基礎を確立することができた。

フィールドワーク先での生徒の感想として、「地域の現状や、企業の取組について、リアルに知ることができた」「社会人になり、仕事をする事へのイメージが湧いた」という意見があった。一方で、企業側からも「交流することで、自社のPR不足であった部分を知ることができた」「今後も継続的に高校生の意見を聞きたい」など、相互に学びを深めることができた。鳴門市や鳴門高等学校との交流でも同様に相互関係性を構築することができた。

○ 「学びに向かう力」の創造

本校生は学習に対する興味・関心の程度に差があるが、フィールドワークや発表の機会などを通して、大人が真剣に耳を傾けてくれることに喜びを感じていた。また、生徒は大人の意見にはヒントがあると感じ、傾聴する姿が見受けられた。さらに、的確に質問する力も身に付けることができた。

生徒の意見として、「たくさんある地域の課題の中から、どの課題から解決していくのがベストなのかを決めるのが難しい」「税金の使い方を決めるのは難しいが、自分の税金は高齢者を支えることに使ってほしい」などがあった。また、「社会人になったら結婚して子供も欲しいが、初任給で大丈夫かな」と言いながら求人票を見直す生徒、「学ぼうちにわからないことが増えてしまった」との感想をもつ生徒もいた。

実社会に興味を持ち、少しでも社会に関わろうとする意欲が高まり、態度に表れてきた。

○ 社会に「開かれた学校づくり」の推進

今回の取組において、専門家・関係諸機関とのつながりができ、地域の方々も学校の学びに興味・関心をもってくれるようになった。今後、このつながりを大切にし、継続した取組としたい。

(取組の工夫)

○ 事業の核となる単元構想を工夫した。

鳴門教育大学准教授、徳島県教育委員会指導主事と定期的に情報共有の場を設け、地域の課題を自分事として捉え、多面的・多角的な見方や考え方ができるような単元計画の作成に努めた。また、実社会と教科のつながりをもたせるワークシートづくりにも力を入れた。

- 柔軟な連携の方法を模索した。

鳴門高等学校とはMicrosoft Teams でつながり、互いの教材や学習成果を共有できるよう工夫した。また、対面での連携場面も設け、オンラインと対面交流のそれぞれのよさを生かせるよう工夫した。

- 成果物の作成、活用を想定することで、単元構想の軸を定めることができた。また、実際に鳴門市長、鳴門市議会議長に意見書を提出することで、社会参画の方法について体験を伴った気づきを得ることができた。

(他地域でも参考となると考えられる点)

- ICTの活用により、連携方法の多様化を図ることができる。鳴門高等学校との連携においては、学科も異なり、校時や学年、科目の単位数の違いなど、様々な面において調整が必要であったが、Microsoft Teams を活用することにより、非同期の連携を行うことができた。
- 専門家・関係諸機関の方々に本校で使用している教科書を見ていただき、単元構想、授業改善への助言をいただいた。授業の導入で紹介できるような地元のトピックについて生徒に話してくれたことで、授業へのつながりがよりスムーズになった。
- 鳴門市のまちづくりに関するアンケート、高校生会議、意見書に係る助言や意見書提出など、様々な場面において関係諸機関の協力を得ることができた。広報誌『広報なると』や『議会だより』にも掲載していただくことで、高校生の学びとその成果を広く地域に発信することができ、「社会に開かれた学校」実現に向けた取組を進めることができた。

課題

- 学習の進捗について、鳴門教育大学の井上奈穂准教授や徳島県教育委員会の指導主事に適宜、助言をいただきながら進め、鳴門市への意見書の作成に向け、効率的に行うことができた。しかしながら、生徒の理解度や支援などに関する校内での共有が不十分であった。実践研究委員会が中心となり、生徒の学習状況の共有と学習改善につながる支援の在り方についての協議が必要であったと思う。専門家・関係諸機関からも助言をいただく機会などを設定し、「単元を貫く問い」を含めた単元構想について確認しながら、授業改善に取り組んでいきたい。

今後の取組

- 専門家・関係諸機関との更なる連携強化に努め、持続的なしくみ・体制を構築したい。
- 校内での教職員・教科間の連携強化を図り、教科横断的な学びを進めていくために、実践研究の成果を共有したい。また、校内だけに留めることなく、この成果を他校とも共有するため、情報発信に努めたい。

鳴門渦潮高等学校 令和3年度 単元計画

○現代社会

社会権・財政のしくみと税金・社会保障（全5時間）

7月 第1時 豊かに生きる権利（生存権）・・・・・・・・・・ 1時間【知】【思】

問い：「健康で文化的な最低限度の生活とは、どのような生活？」

授業内容：生存権における判例について 自分の生活を振り返る。

10月 第2時 アンケート結果の分析・・・・・・・・・・ 1時間【技】

問い：「みんなの意見とは？世代間で何を望む？」

授業内容：アンケートの集計 集計結果についての自身の考え

10月 第3時 社会保障と福祉社会・・・・・・・・・・ 1時間【関】【知】

問い：「まさかの事態に。セーフティーネットには。生涯幸せに。」

授業内容：社会保障の種類としくみ

10月 第4時 これからの社会保障・・・・・・・・・・ 1時間【技】【思】

問い：「少子高齢化社会に必要な考え方とは？」

授業内容：社会保障の現状と課題，未来に向けて私たちが思うこと。

11月 第5時 財政のしくみと税金【外部講師】・・・・・・・・・・ 1時間【知】【技】

授業内容：財政のしくみと税金の種類，財政の現状を把握

11月 第6時 財政のしくみと税金・・・・・・・・・・ 1時間【思】

問い：「知識を実社会で活かすには？」

授業内容：アンケート結果，これまでの知識を活用し，鳴門市が目指すまちづくりについて提言する。

12月 成果発表会【プレゼンテーション】・・・・・・・・・・ 1時間【思】【態】

授業内容：1班から6班までの各班で，自ら考えた模擬請願を発表し，クラスメイトから質問を受けたり，評価を受けたりする。また，事前アンケート結果を振り返り，授業前後の地域に対する思いや考え方の変化を実感する。

○総合的な探究の時間（各分野から出前授業）

（1）「高校生に知ってほしい税の知識について」 税理士 久次米智之

（2）「主権者意識を高める授業の充実のための出前授業」 鳴門教育大学 井上奈穂

（3）「鳴門市の歳出について」 鳴門市役所 中島晃平

鳴門渦潮高等学校 令和4年度 単元計画

○政治経済 民主政治の基本原則（全11時間）

6月～7月 第1時 鳴門市の現状と課題【外部人材の活用】1時間【知】【思】【態】

問い：「鳴門市の現状を知るために企業を訪問しよう。」

授業内容：フィールドワークを実施し、鳴門市の現状と課題を理解する。

7月 第2時 鳴門市の財政状況【外部人材の活用】・・・・・・1時間【知】【思】

問い：「鳴門市の歳入・歳出の現状はどのようなになっているのか。」

授業内容：鳴門市役所企画総務部財政課 中島晃平氏による出前授業

9月 第3時 主権者意識を高めるために【外部人材の活用】・・・・1時間【知】【思】

問い：「選挙のしくみや課題，自分の考えに優先順位をつけるとは。」

授業内容：鳴門教育大学井上奈穂先生による出前授業

10月 第4時 地方自治制度・・・・・・1時間【知】【態】

問い「地方自治の本旨とは。」

授業内容：地方自治の本旨に基づいた政治の在り方を理解する。

10月 第5時 住民の権利(1)・・・・・・1時間【知】【思】

問い：「私たちはどのように社会を形成していくのか。」

授業内容 講演やフィールドワークでの知識を持ち寄り，自分の言葉で表現する。

10月 第6時 住民の権利(2)・・・・・・1時間【思・判・表】

問い：「私たちの意見をどのように届けるのか。」

授業内容：自分たちの意見をまとめ，意見書を作成する。

11月 第7時 政党政治と選挙制度・・・・・・1時間【知】【思】

問い：「政党の役割とは。日本の選挙制度にはどのような特徴があるのか。」

授業内容：政党の役割について理解し，日本の選挙制度について，理解した上で問題点にも気付く。

11月 第8時 民主政治における世論の役割・・・・・・1時間【知】【思】

問い：「世論を政策に反映させるには。」

授業内容：鳴門市の課題と市民アンケートの結果をもとに，課題解決を考察していく。

12月 第9時 鳴門高校との意見交換会・・・・・・1時間【知】【思】

問い：「同世代の人たちは，鳴門市の課題についてどのような考えを持っているのか。」

授業内容：鳴門高校の意見を聞き，意見書の修正をする。

12月 第10時 租税教室【外部人材の活用】・・・・・・1時間【知】【思】

問い：「主権者として知っておくべき税金の知識」

授業内容：税理士久次米智之先生による出前授業

1月 第11時 意見書の完成・・・・・・1時間【知】【思】【態】

問い：「鳴門渦潮高校の意見書を完成させよう」

授業内容：これまでの学びをまとめて，鳴門市の課題解決に繋がる意見書を作成する。

○保健体育【スポーツ総合演習】

(1) スポーツを通じた社会参画とは・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間【知】【思】

(2) NEWSPO RTS の考案・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間【思】【態】

○総合的な探究の時間

(1) フィールドワーク「地域塾」・・・鳴門市にある 4 企業団体を訪問

(2) 出前授業「選挙のしくみや課題，自分の考えに優先順位をつける」

鳴門教育大学 井上奈穂

(3) 出前授業「鳴門市の歳入・歳出の現状はどうなっているのか」

鳴門市役所 中島晃平

Load to Expert (歳入編)

HRNO(

)NAME(

)

鳴門市がどのようにお金を集めているのか，調査開始！

私が選んだ徴収方法は

①法人税 ②所得税 ③固定資産税 ④その他

(1)どのようなしくみなのか？

①誰から ②どのように ③どれだけ徴収しているのか

①

②

③

(2)鳴門市はどれくらいのお金が集まっているの？

(3)私が選んだ徴収方法は，鳴門市の歳入の()%を占めている。過去5年前と比べて徴収額は(増加/減少)している。鳴門市から()ことが分かる。

(4)調べて分からなかったこと/もっと知りたいこと

鳴門市では、どのような政策を行っているのか、調査開始！ (1)誰のために行われている政策なのか？

私が選んだ政策は、

- ① 市民生活応援うずとく商品券配布事業

② 子育て世帯生活支援特別給付金

③ フレイル予防推進事業

④ 防災対策事業

⑤ 新庁舎整備事業

⑥ 道の駅「くるくるなると」整備事業

⑦ GIGAスクール構想推進事業

⑧ 共同浄水場整備事業

⑨ スポーツコミッション活動推進事業

⑩ 公立保育所再編事業

⑪ 鳴門市観光関連事業者支援給付金

⑫ スーパープレミアム付チケット

①誰に	
②どんなことを	
③何にお金がかかっているのか	
【根拠】	
人から聞いたこと	
資料から分かったこと	
自分の予想	

資料や写真をアップしよう！

自由に貼り付けよう

内容へのつぶやき

NEXT RESEARCH's Hints

- ① **インターネット**を使ってその内容を調べてみよう！その内容についてさらに理解が深まるよ。
 - ・ 鳴門市のHPから、『**鳴門市重点事業**』、『**定例記者会見**』、『**市の財政**』、『**広報なると**』などにヒントが隠されているね。
 - ・ インターネット資料の書き方(サイト・URL・確認日)の順で書こう。
- ② 政策に係る**場所**に行ってみよう！現地ならではの発見があるかもしれないね。
 - ・ 写真を掲載する場合(写真タイトル, 撮影者, 撮影日)を写真の下に書こう。
- ③ **おうちの人**や**友達**にもその内容のことを聞いてみよう！おうちの人がその内容に対してどのように考えるかを聞いてもいいかもしれないね。

()グループ 【 】 について～歳入編～

調べてわかったこと！

調べても分からなかったこと！

②よし、エキスパートに質問してみよう！
私たちが1番知りたいことは

です。

()グループ 【 】 について～歳出編～

調べてわかったこと！

調べても分からなかったこと！

②よし，エキスパートに質問してみよう！
私たちが1番知りたいことは

です。

あなたはどのような社会をのぞみますか。

低福祉低負担(自助努力・自己責任)

高福祉高負担(増税・保険料の引き上げ)

「うずしおさんち」の家計簿

収入		支出	
給料	1 3 5 万円	食費	1 0 4 万円
親からの仕送り	2 2 7 万円	介護・育児・医療費	1 1 9 万円
家業収入	8 万円	生活費	1 0 3 万円
家賃収入	8 2 万円	自宅の修理代	1 1 万円
貯金の取り崩し など	3 6 万円	不動産の購入代	7 2 万円
借入金	9 3 万円	子どもへの仕送り	6 8 万円
		借入金の返済	5 6 万円
		貯金	4 8 万円
合計	5 8 1 万円	合計	5 8 1 万円

何かうずしおさんちにアドバイスを
してあげてください。

「うずしおさんち」 (鳴門市) の家計簿

収入		支出	
給料【市税 など】	1 3 5 万円(1 5 0 万円)	食費【人件費】	1 0 4 万円(9 8 万円)
親からの仕送り【国・県支出金, 地方交付税 など】	2 2 7 万円(2 1 6 万円)	介護・育児・医療費【社会保障費】	1 1 9 万円(1 0 9 万円)
家業収入【使用料・手数料 など】	8 万円(1 3 万円)	生活費【物件費・補助費 など】	1 0 3 万円(7 3 万円)
家賃収入【財産収入・貸付金収入】	8 2 万円(1 1 万円)	自宅の修理代【維持補修費・災害普及費】	1 1 万円(8 万円)
貯金の取り崩し など【繰越金】	3 6 万円(2 0 万円)	不動産の購入代【建設事業費】	7 2 万円(7 9 万円)
借入金【市債】	9 3 万円(9 1 万円)	子どもへの仕送り【他会計への繰出金】	6 8 万円(6 0 万円)
		借入金の返済【公債費】	5 6 万円(7 3 万円)
		貯金【積立金】	4 8 万円(1 万円)
合計	5 8 1 万円(5 0 1 万円)	合計	5 8 1 万円(5 0 1 万円)

鳴門市の一般会計予算を5000分の1に換算しています。

63

※()内は5年前の平成28年度の額

エキスパートへの質問を終えて

エキスパートから得た知識

お願いしたい内容

自己評価 (A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった)

① 専門家の方へのインタビューをグループで協働して考える事ができた。

A B C

② 専門家の方の意見，他グループからの意見をしっかり聞くことができた。

A B C

③ グループの研究内容を，深めることができた。

A B C

④ 目指したい5年先，10年先の鳴門市の社会像を描くことができた。

A B C

⑤ 模擬請願書の作成に向けて，根拠づける情報や資料収集に向けて見通しが持てた。

A B C

それでも分からない，もっと知りたいこと

税は『社会の会費』



「支え合い」により
成り立っている社会

税金

公的
サービス

教育

福祉

水道
道路等

年金
医療

警察
消防
防衛

1 「税」の意義と役割を知ろう---もっと知りたい税のこと 平成30年6月：財務省 (mof.go.jp)

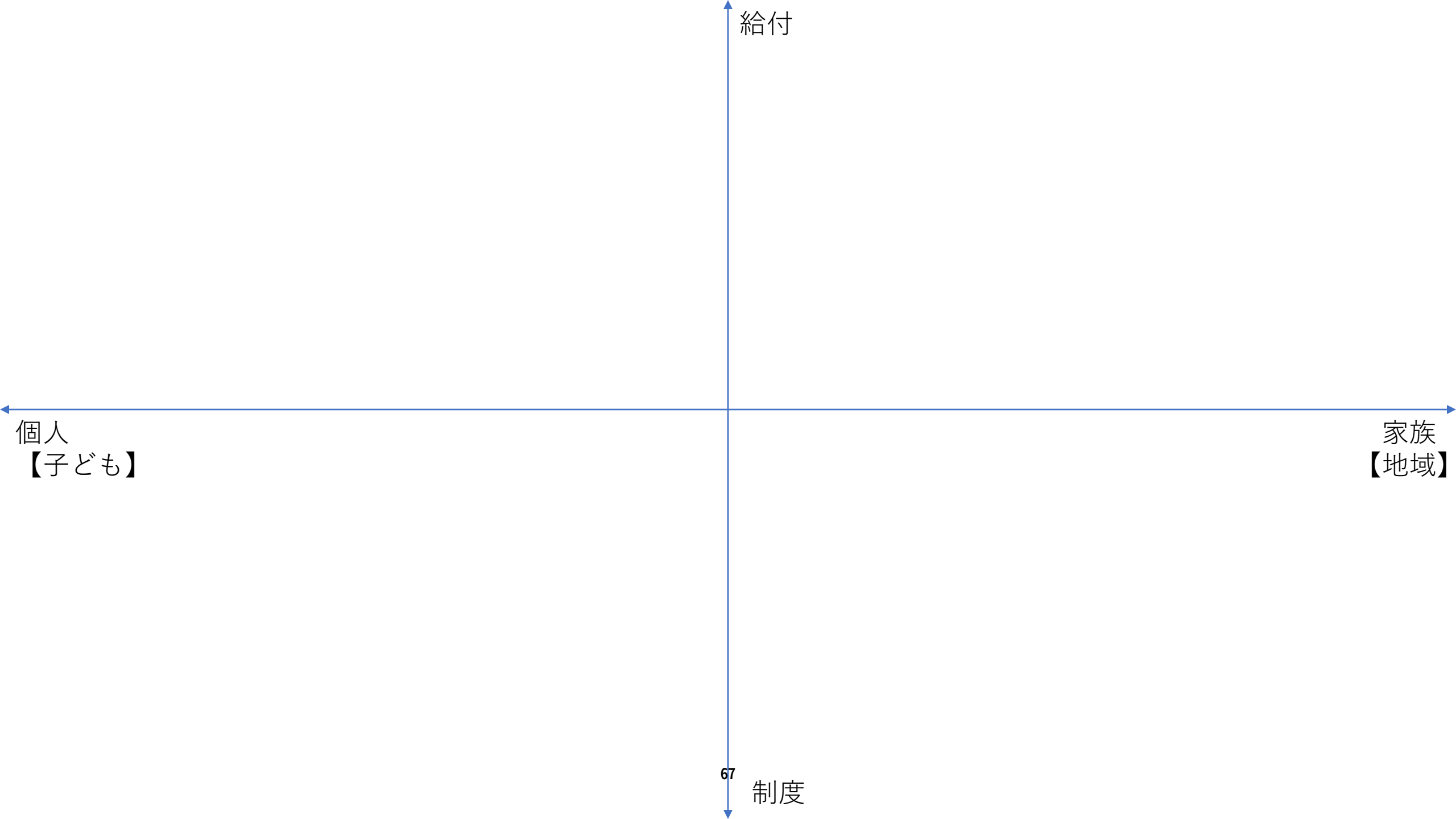
所得の再分配とは

9 再分配所得

(1) 再分配所得・・・当初所得から税金、社会保険料を控除し、社会保障給付（現金、現物）を加えたものである。

$$(2) \quad \text{再分配係数 (\%)} = \frac{\text{再分配所得} - \text{当初所得}}{\text{当初所得}} \times 100$$

厚生労働省 所得再分配調査より



感謝 → 行動 → 実現 → 未来

未来のことを考えながら，社会に**干渉**していく。納得して税金を払える。

考えた施策・提言は鳴門市の【宝】である！

思考 ⇔ 習慣

模擬請願書を作成しよう！

これまでに、鳴門市の財政について専門家の方から話を伺いながら、詳しく学びを進めてきた。

改めて財源には『 』があることを理解した。

そこで、5年後、10年後住み続けたいまちであり続けるために、鳴門市への要望をまとめ、模擬請願を作成しよう。

【例】まちが抱える課題について、
[教育，福祉，ごみ・環境，交通，街づくり]
のことについて、
「 』をしてほしい。
理由は
「 』から
です。

【 』に関する請願

請願趣旨(請願の内容を書く)

請願理由(なぜこのことを請願するのか書く)

請願項目(具体的な要望事項を箇条書きで書く)

こんな点に気をつけよう。

- ・ 誰が読んでも理解してもらえるように、**具体的**に書きましょう。
- ・ 財源には、**限界**があることを念頭に請願しよう。
- ・ 自分の願いだけでなく、**グループの願いや住民の願い**になっているかを確認しましょう。
- ・ **5年後、10年後の鳴門市**を想像しながら、請願を考えよう。
- ・ 鳴門市のホームページで、自分たちの願いがすでに**検討、実施**されていないか調べておこう。

模擬請願書を作成しよう！

これまでに、鳴門市の財政について専門家の方から話を伺いながら、詳しく学びを進めてきた。改めて財源には『**限 界**』があることを理解した。

そこで、5年後、10年後住み続けたいまちであり続けるために、鳴門市への要望をまとめ、模擬請願を作成しよう。

【例】まちが抱える課題について、
[教育、福祉、ごみ・環境、交通、街づくり]
のことについて、
「**くるくる鳴門内に映画館を作って**」をしてほしい。
理由は
「**鳴門市に映画を鑑賞できるところがない**」からです。

【**くるくる鳴門建設**】に関する請願

請願趣旨(請願の内容を書く)

鳴門には映画館がないため、老若男女映画を観るには徳島市内まで出て行かなくてはいけない。

請願理由(なぜこのことを請願するのか書く)

くるくる鳴門内で映画が見えることで、その場所に人が集まり、モノを買ってくれることで経済が動く。
他の市町村からも顧客が増えることで、経済効果が大きくなる。

映画は若者だけでなく、全世帯にとってのアミューズメントパークとなり、世代間交流も生まれるのでは。

請願項目(具体的な要望事項を箇条書きで書く)

くるくる鳴門内に映画館を建設して、経済を活性化
する。

【自分の住むまちを想像しながら考えてみて】

町に1つだけある公園を想像してください。

最初にその公園ができたとき、近くに住んでいた子どもたちは大きくなって、やがてそこでは遊ばなくなります。そして世代が変わるうちに、町にはだんだん子どもが少なくなっていく、逆に高齢者が増えていきます。ある時、公園をつぶし、跡地に高齢者用の集合住宅を作ろうという案が持ち上がったとします。

さて、ここで、町では少数の少ない子どもたちや、今は公園で遊ぶことはないが、いずれ公園のある町に戻ってきて子育てしたいと思っている人たちのために公園を残すべきでしょうか。

あるいは、公園を所有している市役所は財政難なので、公園の土地を不動産開発事業者に売却すべきでしょうか。

私はこう考える！

私は べきと考えます。

なぜなら だからです。

というデメリットもあると思いますが、

というメリットの効果の方が大きい⁷³と思ったからです。

文部科学省 実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究
「鳴門地域の活性化を提言する」特別講座①レポート用紙

1 目的

・四国一の化粧品会社で知られる「ひかりや」を訪問し、業務内容だけでなく、ひかりやが深く関わった大道銀天街（商店街）の歴史や商店街活性化事業を学習し、鳴門地域の具体的な活性化案をまとめる。

2 講師 株式会社 ひかりや 会長・立本利博

化粧品販売実績では四国NO1の実績。TBS「がっちりマンデー」に出演。

商店街の組合で役員として商店街活性化に尽力。

3 日時 令和4年（2022）6月21日（火）16:00～17:00

4 場所 株式会社ひかりや 1F

* 鳴門市撫養町南浜字東浜645・銀天街商店街 * TEL088-685-0101

<レポート>

HRNO()氏名()

①「株式会社 ひかりや」について（理念・経営方針・事業内容等）

----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----
--

②鳴門の大道銀天街の歴史と商店街の活性化

③本日学んだことをまとめよう。また、鳴門活性化の自分の意見を書こう。

文部科学省 実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究
「鳴門地域の活性化を提言する」特別講座②レポート用紙

1 目的

・いちご栽培を中心にさまざまな事業を展開している「フルーツガーデンやまがた」を訪問し、ここまでの業務展開、新商品の開発、地域活性化への取り組みなどを学習し、鳴門地域の具体的な活性化案をまとめる。

2 講師 フルーツガーデンやまがた 代表取締役社長 山形 文吾

＜いちご栽培を中心に地域活性化、観光化、新商品の開発を積極的に展開。徳島県・鳴門市における六次産業化のトップランナー。地域を巻き込んだ大津町の活性化事業。いちごの肥料に工夫を加えSDGsにも積極的に取り組む。＞

3 日時 令和4年(2022)6月28日(火) 16:15～17:15

4 場所 フルーツガーデンやまがた（いちご農園入口の屋外で実施）
770-0003 鳴門市大津町大代645-1 TEL088-685-4721

<レポート> HRNO()氏名()

①「フルーツガーデンやまがた」について(経営理念・方針・事業内容等)

②本日学んだこと。また、鳴門活性化の自分の意見を書こう。

クラスメイトのレポートを見て

HRNO()NAME()

感心した取組(①企業・団体 ②取組 ③内容)

[illegible]

[

[

【 7

鳴門市の課題解決アイテム！

①教育 ②福祉 ③観光 ④交通
⑤仕事 ⑥スポーツ ⑦その他()

課題を踏まえて、それぞれの企業・団体がコラボすることにより、解決できることはないだろうか。

鳴門市には、（ ）がある！ HRNO()NAME()

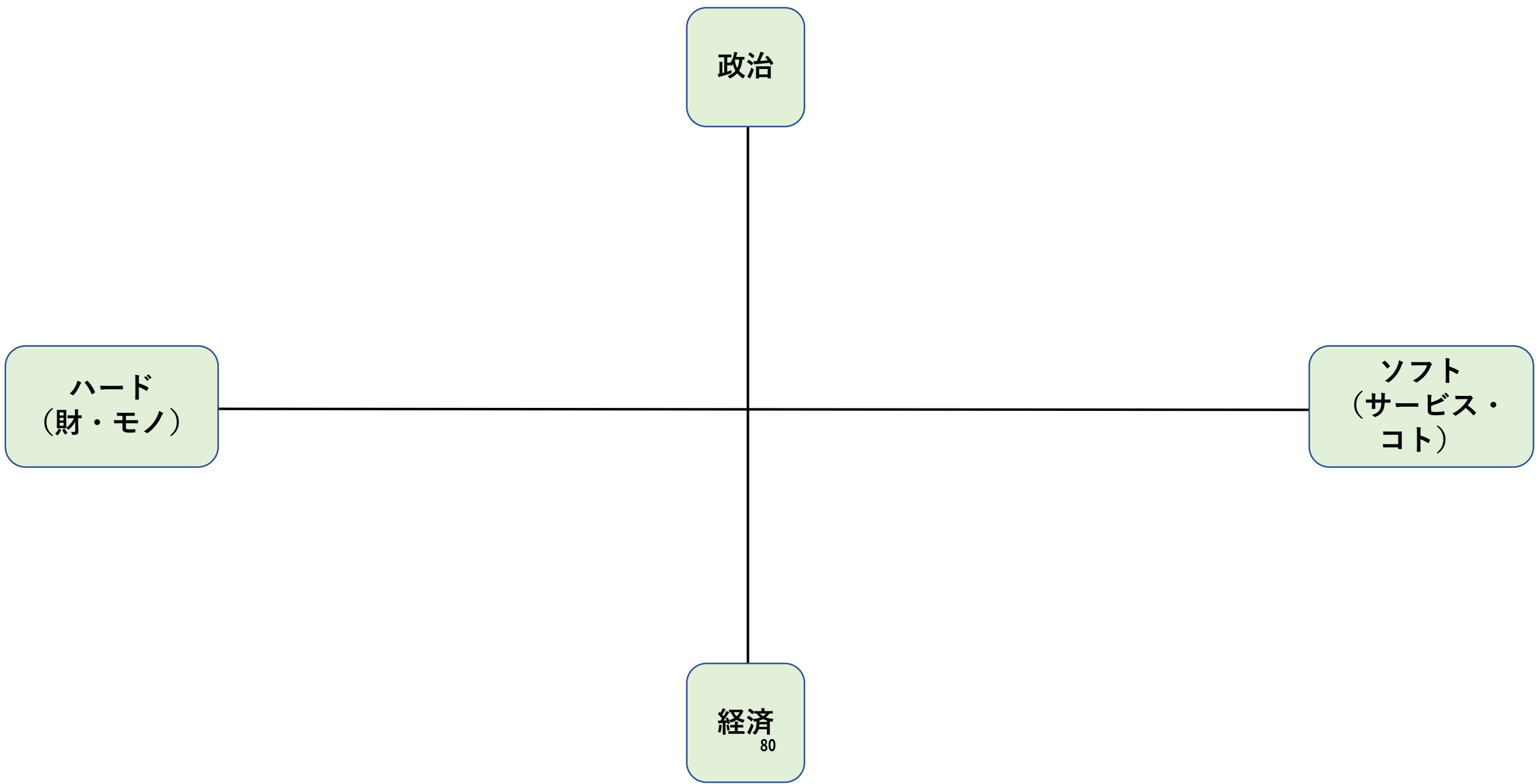
①理念

③連携事業

②事業活動・事業内容

④(フルーツガーデンやまがた)の魅力はここだ！

⑤ 自己評価【下記のURLをクリック】



子育てするのに良い環境が整っていると思いますか？

鳴門は働く場所（企業など）が多いと思いますか？

政治

鳴門の情報が適切に発信されているか？

市内に大型ショッピングモールは必要ですか？
どのようなお店が出店してほしいか？

市内の公共交通機関に望むことはありますか？

交通事情について、不便を感じていることはないか？
歩行者・運転者として

鳴門市に足りないモノはなんですか？

生徒が減っている学校についてどう思うか

どんな施設が欲しいか

整備してほしい場所がありますか？

幼稚園や小学校での行政サービスについて要望はありますか？

ハード
(財・モノ)

ソフト
(サービス・コト)

鳴門市の交通に不満点はないか

鳴門は住みやすいまちですか？
理由は？

現在利用の介護サービスについて、良いところや改善点がありますか？

鳴門市に何か欲しい、あったらいいなと思うし施設ありますか。

鳴門のスポーツ施設は魅力あると思いますか？

魅力ある観光資源を知っていますか？

鳴門は住みやすいまちですか？
理由は？

開催して欲しいイベントはありますか？

経済
81

単元：民主政治の基本原則

「私たちはどのように社会を形成していくか」

令和4年10月27日（木）

鳴門市にほしいものは？



【7月～9月】第1回 U's地域塾

株式会社
ひかりや



フルーツガーデン
やまがた①



アオアオ
ナルトリゾート



本家
松浦酒造



とくしま
コウノトリ基金



フルーツガーデン
やまがた②



私たちが足を運んで得た情報(活きた地域の声)で、鳴門の課題を解決する！
U'z 地域塾は、課題を解決していくための知恵を得る場所！



鳴門市の課題は？

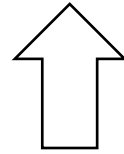
- 課題 1 **自然減**と**社会減**が深刻なスピードで進行
- 課題 2 県内他市町への**転出**が多い（特に20～30代）
結婚や仕事を機に**転出**する若い世代が多い
- 課題 3 **鳴門の良いところ**を十分に活かしきれていない
若い世代が十分**集まれる場所**が少ない（**にぎわい**）

$$\frac{\text{（訪問先} + \alpha \text{）}}{\text{コラボ案}} - \text{問題解決} = \text{鳴門の未来}$$



鳴門渦潮高校の想い

【意見書～5年先，10年先の鳴門市の未来につながる提案はどのようなものか。】



比較

共通している部分

考察

コラボ案

検証

実現可能か

株式会社
ひかりや

フルーツガーデン
やまがた

特定非営利法人
とくしま
コウノトリ基金

アオアオ・
リゾートナルト

本家松浦酒造
ナルトタイの店

第2回U'z地域塾

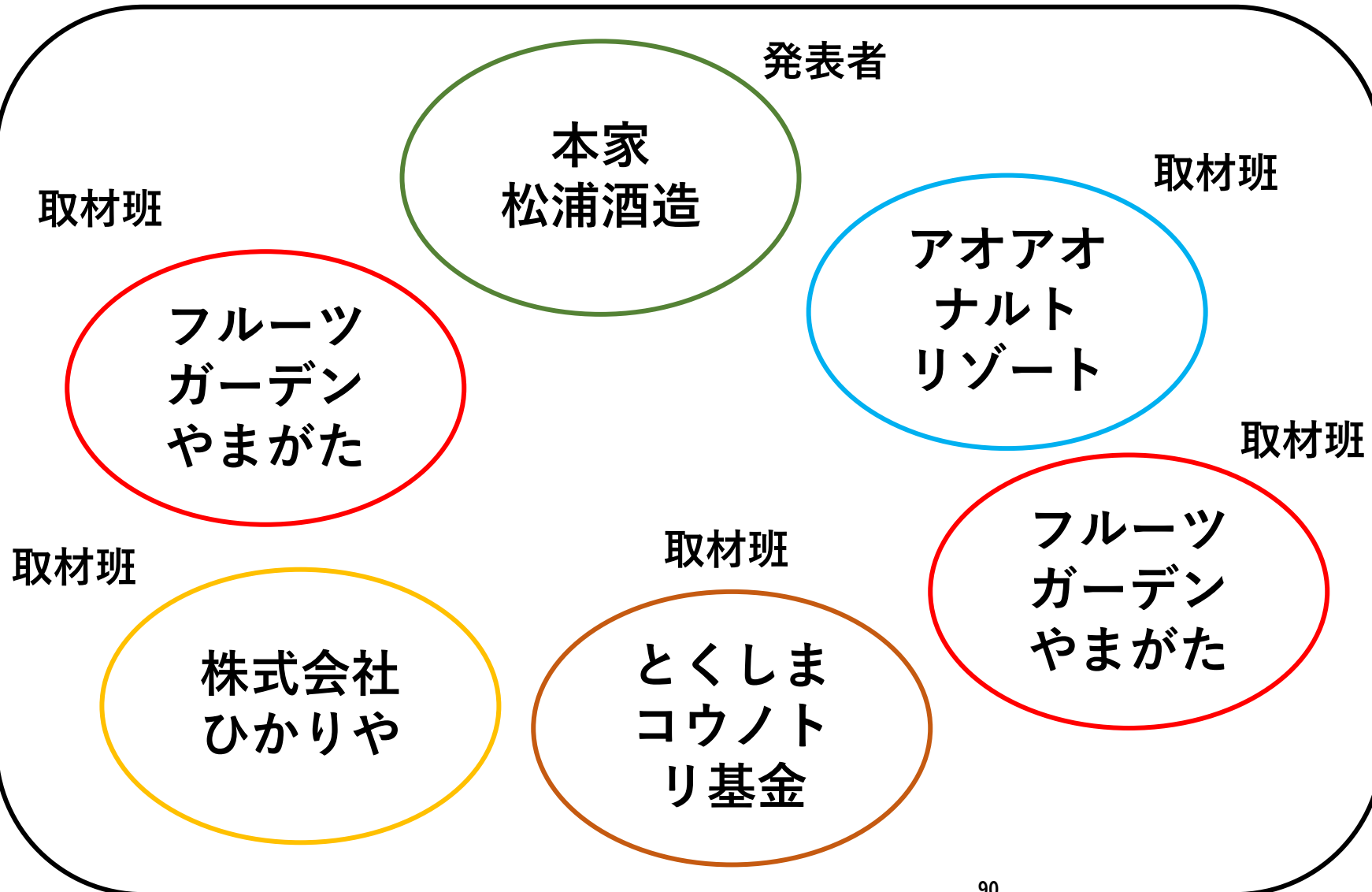
今日の流れ【10月27日】

フィールドワークで得た**情報を共有**しよう！

- ① 他のグループの情報を入手し，グループへ持って帰る。
- ② 持ち寄った**情報**と，自分たちの**情報**を**コラボ**させ，意見書の原案を作成する。
- ③ 今日の授業の感想を入力 →
【右のQRコードを読み取ってください。】



～第2回 U'z 地域塾～



① 発表者は、3分以内でフィールドワーク先を**プレゼンテーション**する。

② 取材班は、付箋を活用して、得た情報を持ち帰り、**エンタロー**に貼る。

U'z 地域塾話し合いのルール

- ① 班長から右回りに付箋を貼りながら情報を共有していく！
- ② 班長から左回りに鳴門市の活性化プランを提案していく！
- ③ 誰のプランが良いか挙手で投票し、班長はとりまとめエンタロー中央に記入する！

提言内容を，投票による相互評価をしよう！

株式会社 ひかりや

アオアオナルトリゾート

とくしまコウノトリ基金



提言内容を，投票による相互評価をしよう！

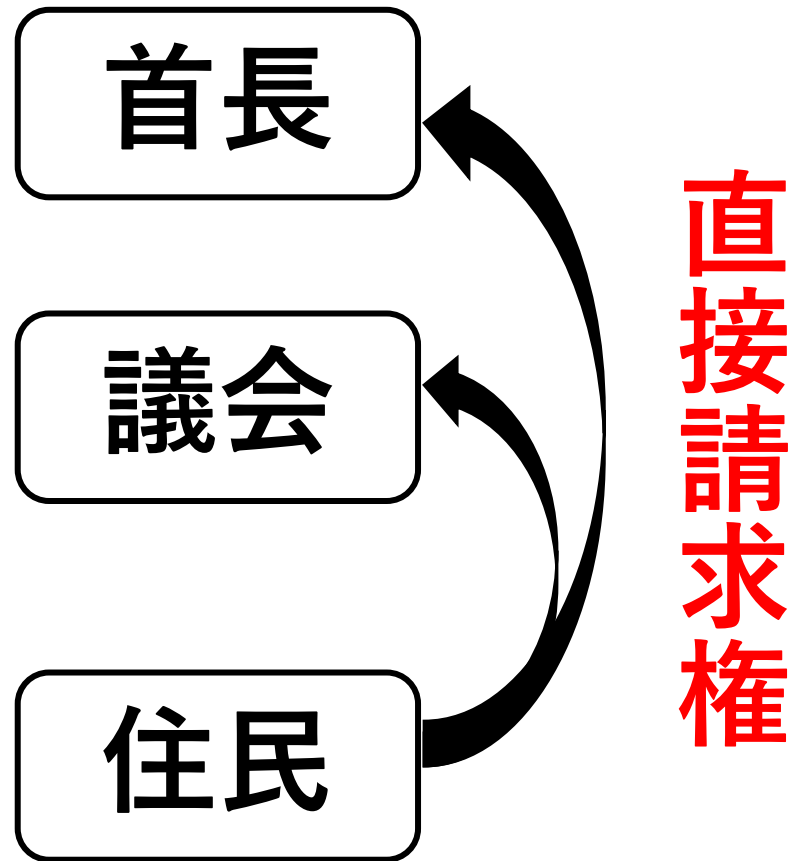
フルーツガーデンやまがた①

松浦酒造

フルーツガーデンやまがた②



地域の課題を積極的に考え，政策化するのは 議員や行政だけでなく，市民が行うこと！



今日の活動が社会生活の場面で活用できる！

- ・ 請願権
- ・ 住民運動

U's 3 1FP
未来プラン

```
graph TD; Center[U's 3 1FP 未来プラン] --> Education[教育]; Center --> Welfare[福祉]; Center --> Tourism[観光]; Center --> Sports[スポーツ]; Center --> Work[仕事]; Center --> Transportation[交通];
```

教育

福祉

観光

交通

仕事

スポーツ

教育

福祉

観光

ボルティス盛り
上げJ1へ

交通

スポーツ

仕事

小・中・高生に夢を
与える。
スポーツの活性化
健康の増進

高齢者・障がい者ボラ
ンティアの活性化
誰もが生き活きするま
ちづくり

飛行機の増便
バスの増便
シャトルバスの
運行

飛行機・バスの
増便
シャトルバスの
運行
市民の利便性も
向上

ボルティスと地元特産品のコラボ
商品開発
サポーターへ販売するため出店する

地域スポーツの
活性化
他県との交流

今後【地域塾】の予定

- 3 回 課題解決アイテムから活性化プランの具体性を！
- 4 回 鳴門市の財政から実現可能性を探る！
- 5 回 住民の想いを政策に乗せて！
- 6 回 鳴門高校との地域塾！